

令和2年1月28日

特別調査委員会第2回（最終）答申について  
（日本学生ソフトテニス連盟 理事会報告）

日本学生ソフトテニス連盟  
会長 小原 信幸

日本学生ソフトテニス連盟は、第62回東日本学生ソフトテニス大会シングルス選手権に於ける不正試合の発生を受けて、特別調査委員会を設置して諮問を行いました。

諮問事項1. 今回の不正試合に関与した学生選手・審判員への適切な処分に関する件については、「第1回答申」（令和元年9月19日付）を受けて、当連盟理事会において承認した結果を、令和元年9月25日付「特別調査委員会第1回答申について」として既に公表しております。

諮問事項2. 今回の不正試合についての、実態解明、原因究明、および再発防止策に関する件について、この度「第2回（最終）答申」（令和2年1月23日付）が提出されましたので、当連盟理事会は1月26日に審議を行い、これを承認しました。ここに、「第2回（最終）答申」の全文を掲出してご報告いたします。

当連盟理事会は、特別調査委員会による2回の答申の内容を真摯に受け止め、また再発防止策の提言に従い、二度とこのような不祥事が発生することのないよう、今期2月総会において具体的な対策案をとりまとめて審議に上程する予定です。

引き続き信頼回復に努めてまいりますので、何卒ご支援ご協力をお願い申し上げます。

以上